

センター活動報告－情報発信と情報収集の取組み

EDIM'20 「with コロナのキャンパス」実施報告

上之菌 和宏[†], 大平 哲史[†], 吉嶺 加奈子[†], 中村 修也[†], 村上 雄大[†]

1. 実施報告概要

- 日時：2020年12月12日（土）12:50～18:05
- 場所：オンライン（Webex Events）
- 事務局：青山学院大学青山キャンパス 224 教室

教育デザインと情報メディアを考えるシンポジウム 2020 では「with コロナのキャンパス」をテーマとし、ICTを活用した新型コロナウイルス感染症と共存する教育の在り方に焦点を当てた。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本年は初の試みとして会場をオンラインへと移して開催した。青山学院関係者のみならず全国の大学関係者や官公庁、ICT に近い企業・団体等、各方面からの参加があった。事前参加登録は 101 名、シンポジウム当日 65 名の参加があった。

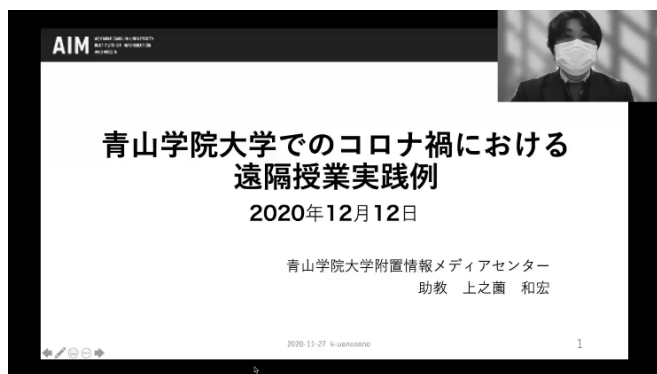


図1 実際の講演画面

2. 講演内容

2.1 青山学院セッション

青山学院の取組みのうち、大学での遠隔授業・宗教センター宗教教育・附属設置学校の事例を紹介する。

2.1.1 上之菌和弘（青山学院大学附置情報メディアセンター 助教）

「青山学院大学でのコロナ禍における遠隔授業実践例」

2.1.2 塩谷直也（青山学院大学宗教部長・法学部教授）

「オンラインによる宗教教育の可能性」

2.1.3 佐藤健悟（青山学院高等部数学科教諭）

「高等部オンライン教育の実践と今後の ICT 活用」

2.2 他大学セッション

他大学の動向として、私立大学・国立大学・女子大学の事例を紹介する。

2.2.1 斎藤正武（中央大学商学部教授）

「コロナ禍における中央大学の対応と学生の反応」

2.2.2 田名部元成（横浜国立大学国際社会科学研究院教授）

「オンラインによる宗教教育の可能性教育デジタル変革に向けて - 横浜国立大学の事例 -」

[†] 青山学院大学附置情報メディアセンター

2.2.3 坂田哲人（大妻女子大学家政学部専任講師）

「“立地の良い”ふつうの大学が、コロナ禍にどう対応しているか」

2.3 企業セッション

青山学院大学に関わるベンダー各社が with コロナの大学教育をいかに捉えているか、各社が提供しているサービスを軸に講演を行った。

2.3.1 芹川拓丸（シスコシステムズ合同会社）

「次世代プラットフォーム Cisco Webex で実現する遠隔授業」

2.3.2 柴草武臣（富士通株式会社）

「富士通の考える大学 DX アフターコロナにおける大学 ICT のあり方」

2.3.3 中田寿穂（日本マイクロソフト株式会社）

「Microsoft Education Transformation Framework に基づく大学 DX」

2.3.4 Stuart MillerAndrey Pak（グーグル合同会社）

「AI 時代を生きる子供達のこれからの教育とは」

2.4 パネルセッション

青山学院セッションおよび他大学セッションの登壇者 6 名に対し、実行委員長である飯島副所長司会のもとパネルディスカッションを行った。

3. アンケート結果（概要）

シンポジウムの出席者 65 名に対し、終了後にアンケートを実施した。回答総数は 26 件であった。各セッションの満足度については、図 2 の通り青山学院セッションが最も満足度が高く、次いで他大学セッション、企業セッション、パネルセッションの順となった。また次の開催方法については、図 3 の通り回答者の約半数が次回以降もオンライン開催を希望していた。

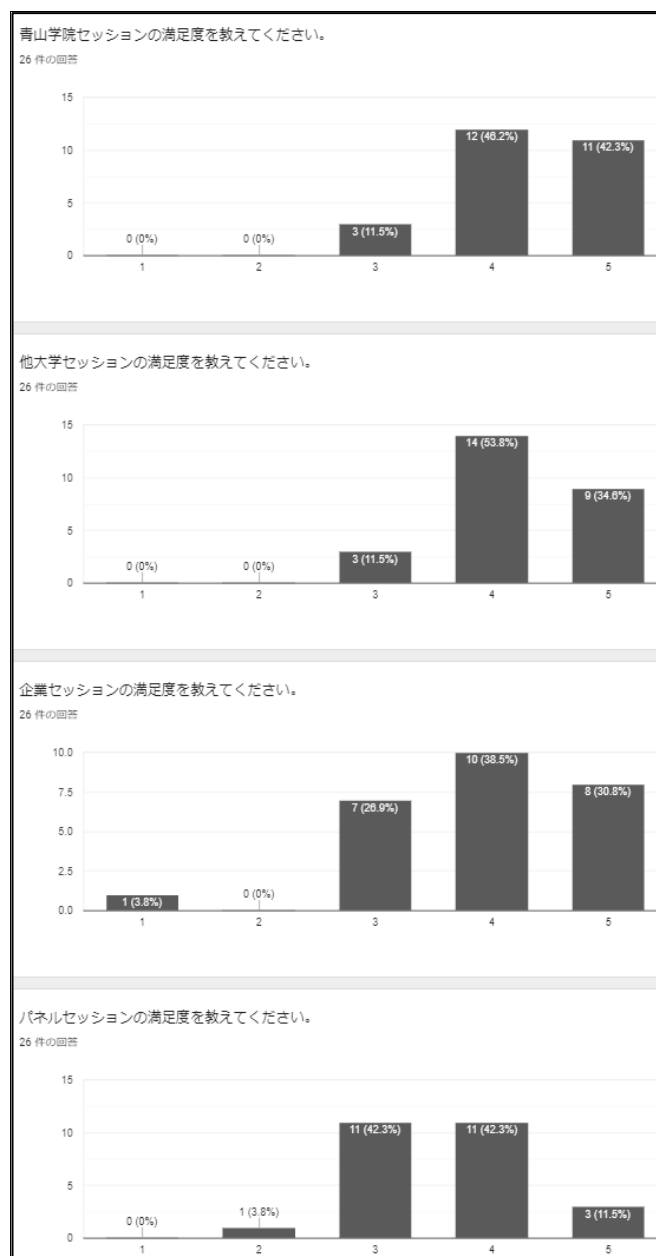


図 2 各セッションの満足度

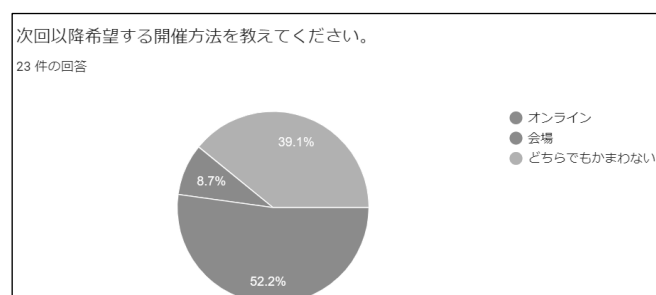


図 3 次の開催方法

4. 総括

オンラインでシンポジウムを実施したのは今回が初めてとなるが、参加者からは好意的に受け止められた。一方で「情報交換会」を廃したことから企業関係者の申込件数が少なく、結果として全体の参加者も例年より減少した。またオンラインシンポジウムの特性上、申込を行ったものの当日参加しなかった者が3割程度存在した。今後はオンライン開催においていかに申込を獲得するか・いかに当日参加を促すかを検討する必要がある。

アンケート中の感想（自由記述）では特に塩谷教授の講演について言及したものが多かった。また本年は開会に先立って大会祈禱を実施しており、参加者はこれらをもって他のオンラインシンポジウムとは異なる「青学らしいシンポジウムである」と感じていたようである。

5. 実行委員会

- 飯島 泰弘（情報メディアセンター副所長、社会情報学部教授）
- 上之藪 和宏（情報メディアセンター助教）
- 大平 哲史（情報メディアセンター助教）
- 吉嶺 加奈子（情報メディアセンター助手）